

令和7年度 前橋市児童文化センター第1回運営委員会 議事録

○開催日時 令和7年7月4日（金） 15時30分～16時40分

○出席者（23名）

・運営委員（11名参加）

西菌委員 藤井委員 本川委員 渡邊（忠）委員 狩野委員 梶間委員 天宮委員 齋藤委員
小暮委員 岡田委員 春山委員

・教育委員会及び関係課（5名）

吉川教育長 須田公園管理事務所長 木村教育施設課長 宇次生涯学習課長
安藤教育支援課長（司会）

・職員（7名）

渡邊（隆）館長 野中課長補佐 奥山係長 小林指導主事 吉澤指導主事
藤原副主幹 井上副主幹

○欠席者

・運営委員（3名）

金澤委員 間々田委員 小林委員

○議事

（1）報告及び協議

- ①令和6年度の事業報告について
- ②令和7年度の事業概要について
- ③令和7年度の事業コンセプトについて

（2）意見交換

○内容

1 開 会〔交代委員の紹介〕

2 あいさつ〔吉川教育長〕

こんにちは第1回になります前橋市児童文化センター運営委員会開催にあたり、挨拶をさせていただきます。本当に暑さ厳しい中、お集まりくださいましてありがとうございます。さて先日のニュースで目にしたのは、群馬県の2023年の出生数が1万人を初めて割込み、出生率が1.20まで下がったこと、これにより将来、数年前の予測以上に勤労人口が大幅に不足することへの危惧が報道されていました。私たちの前橋も例外ではなくて、出生数が減少の一途をたどっており、こどもに関する施策がますます重要になってきているなど感じております。前橋市ではこの4月から中学校に続き、小学校も給食費完全無償化が実施されました。さらに本年度はこどもの人権に焦点をあてました「こども基本条例」の制定に向けて本格的に動きだすなど関係課や関係団体が連携をし、幅広く子育てを重視した万策に取り組んでいるところでございます。児童文化センターはこどもたちが教育的活動や文化的交流の体験を通じて成長し、豊かな人間性を培う場として、長きにわたり重要な役割を果たしてきた施設でございます。また、その活動を地域のボランティアや学生の皆様に支えていただいている社会教育の場としての一面を持っております。今後、この施設は、こどもたちの非認知能力の育成、あるいは市民がこどもを中心に学び合うなど多様な形で必要性が一層高まる施設となると考えております。各事業の実施、安定的な施設管理、運営などに対して、引き続きご理解をいただければ幸いです。委員の皆様には、それぞれのお立場からの知見を生かしたご意見をいただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後にお集まりをいただきまして、皆様に重ねて感謝を申し上げます。挨拶といたします。

〔安藤課長〕

ありがとうございました。それでは、議事に入りたいと思います。進行につきましては、前橋市児童文化センター条例施行規則第 12 条において、運営委員会の会議は会長が議長となるとされておりますので、西菌会長に議事の進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

〔西菌会長〕

それではご指名頂きましたので、私の方で議長を務めさせていただきます。議事にご協力をお願いいたします。早速、本日の議事に入ります。皆様のお手元に取材が配られていると思いますので、まず、(1)の報告及び協議について事務局から一括でご説明をお願いいたします。

3 報告及び協議〔進行：西菌会長〕

(1) 報告及び協議〔渡邊館長〕

事務局からの説明に先立ち、一言私からご挨拶をさせていただきます。今年度から館長としてまいりました渡邊でございます。以前、児童文化センターや青少年課でお世話になっており、久しぶりの児童文化センター勤務となります。どうぞよろしくお願いいたします。さて、この建物ができてから間もなく 13 年となります。施設や設備的にも問題が多く見られ、その対応が必要となってきました。また、事業の面ではコロナ対応の影響が残っているものも多くあります。さらには、事業の前提となる社会や家族の在り方も随分と変わってきています。また、職員の働き方という面でも、なかなか二連休以上の休みが取りづらいなど、ゆっくり身体や心を休めることはできない、そのような課題もあります。こんな状況の中、私たち児童文化センターに関わる職員として、何を大切に続けていけばよいのか、また時代に合わせ何を変えていけばよいのか、数々の問題にどう対応していくかなど、未来でも、この児童文化センターが皆さんに愛される施設となるよう、さらには、「子育てのまち前橋」のこどもや家族が利用する施設として、どんな事業をしたり、どんな環境を期待したりしているのかも職員で考え取り組んでいるところでございます。運営委員の皆様には、児童文化センターに興味を持っていただいている方、関わりの特に深い方というふうに、存じ上げております。ぜひ、客観的な視点から児童文化センターの姿を明らかにし、また今、そして今後の児童文化センターのため、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。それでは令和 6 年度の事業報告について、各担当より要点をご報告させていただきます。

- ① 令和 6 年度の事業報告について
- ② 令和 7 年度の事業概要について
- ③ 令和 7 年度の事業コンセプトについて

(西菌会長)

ありがとうございました。非常に多岐にわたる活動について、それから新しいコンセプトの考え方について、手際よくご説明いただいてわかりやすい内容でした。どうでしょうか。皆さん、今のご説明の中で、さらに詳しくお聞きしたいご質問、あるいはご意見ありましたら、お出しいただければと思います。初めて委員になられた方は、全体像で非常に多岐にわたっているという印象でしょう。コンセプトの図ですが、学校教育、家庭教育、それから各年代的にも様々な世代間の交流できるよう、それぞれの分野での活動が、今のご説明の中に反映されたかと思います。特にご意見ご質問とかございませんでしょうか。全体の活動についてのご意見は、ぜひ後からみなさんに一言ずついただきたいと思っております。それでは、今回の事業報告、それから事業概要、そして、コンセプトについて、皆さんに採決を賜りたいと思いますが、よろしいでしょうか。一括で、採決したいと思います。これを承認される方は、拍手をお願いいたします。全員から拍手を頂きましたので、承認ということにいたします。それで、事務局にはまた一層魅力のある施設となるように、運営にご尽力いただければと思います。よろしくお願いいたします。

【意見交換】

<天宮委員>

はい、失礼します。共愛学園前橋国際短期大学の天宮と申します。よろしくお願いいたします。委員としては、この中では一番長くなるのかなと思うのですが、児童文化センターの先生方がすごく大変だろうなと思います。土日休みがなくて、さまざま

	過酷な業務だろうなと思います。でも本当にこどもにとって本当に素晴らしい場所で、今回、学びと体験というのを聞いて、やっぱり体験の中にすべての学びがあると思っているので、私も業務の中で、保育士、幼稚園教諭の養成をするときに、同じように遊びの中、体験の中に学びがあると思っています。そこには科学の土台もあると思っています。この幼少の時からセンターに来て、いろいろな体験をしたこどもたちが、幼稚園、小学校とセンターを利用して、さらに中学生、高校生、続いて短大や大学と成長する中で、大学生のときに、ボランティアでここに帰ってくるような、育ててもらいながら自分たちも関わっていくという、そういうサイクルができています。何人もそういう子たちもいるかと思います。ただ、業務は大変なので、職員の方々は本当に体に気をつけてほしいと思います。
< 齋藤委員 >	キーテクノロジーぐんま天文台の齋藤と申します。まずは、これだけの事業を実施するには土日も関係なく、職員のみなさんも大変だと思っています。私自身も土日休みがないのですが、皆さん、お身体に本当に気をつけてください。職員の皆さんが楽しんでいる姿っていうのが一番こどもたちに伝わると思います。説明を聞く中で、力を入れていきたいのが「インスタグラム」なんだろうなというふうに思って聞いていました。インスタグラムでの発信をしてさらに周知方法を工夫とするとどんなふうになるのか楽しみにしたいと思っていますし、あの、私も協力できることがあれば一緒にしたいと感じておりますので、ぜひ協力させていただければと思います。本当にお身体に気をつけてください。
< 小暮委員 >	宇宙少年団の小暮と申します。よろしくお願ひします。先ほどお伺ひした「学びと遊び」を、「学びと体験」で、転換していくことで、関わる人たちがどのように変わり、関わり方がどう変わるのか、非常に興味がある所ではあります。その遊びっていう点が、今度はどういう部分に反映されていくのかも興味はあります。我々宇宙少年団は、基本的に「命の大切さ」をベースに、何かをやりたいっていう冒険心、何かをやりたいという好奇心、どこかに行きたいという冒険心、モノを作りたいという匠の心。これに対して大人がファシリテーションしながら、こどものハートに火をつけるっていうようなコンセプトで、ヒント出しをして、答えを言わずに、子どもたちに考えさせた活動をしています。非常にありがたいのですが、このワークショップで、経験した子たちがさらに興味を持っていただいて、我々の活動にその後参加していただいて最初はもどかしくて、作業しているこどもたちが、大きくなっていくと、新しく入ってきた子たちに教えています。そういうのを見ると、この子たちもずいぶん成長しているというのを感じます。今度何を体験させるのかで、大人がどういう関わり合いをするのかなっていうことに、少し興味があるところではあります。引き続き、ワークショップでお世話になりますので、よろしくお願ひ致します。
< 岡田委員 >	ボランティアの会の岡田と申します。よろしくお願ひします。現在、児童文化センターボランティアの会員は中学生から高校生、大学生、シニアの会員まで約 70 名の方がセンターの方々の協力いただき活動しております。センターの春祭り、秋祭りのお手伝い、毎年 3 月の第二土曜日は会員全体による全員参加によるサンキュー祭りを開催して、大いにこどもさんたちも喜んでいただいております。会員の得意分野でこどもたちと作品を作ったり、一緒に合唱をしたり、皆で一緒に楽しんでおります。6 月には廃棄物を使い、先ほどの映像にも出ましたが、楽器を作り、一緒に演奏会をして大いに盛り上がりました。ボランティアの私が言うことではないのかもしれないのですが、事業概要とかその説明を聞いたところ、前の委員さん方もいわれていましたが、職員さんの重労働、大変さを痛感させられます。ぜひセンター職員の充実を宜しくお願ひしたいと思っています。もう一つですが、県内の同様施設で遊具が壊れて怪我をしてしまったといった事故もありました。ぜひ遊具の

	安全点検には力を入れていただいて、ここにきて怪我をして嫌な思いを残さないようにしていただけたらありがたいと思います。こどもたちを、前橋は子育てを掲げておりますので、期待しておりますけど、皆様が来てよかったね。また来たいねという言葉が頂けるように、私たちボランティアも心がけております。私たちボランティアは、ひとりひとりの笑顔を見て喜びと学ばせていただいております。
<春山委員>	桂萱中学校の職員の春山と言います。お世話になります。センターでは、ジュニアオーケストラの講師をさせていただいております。中学校で吹奏楽部の顧問をしており、部活の地域展開が動きだしており、そんなに遠くない将来、土曜日の活動が、地域の方に委ねられようとしています。そして問題なのが、例えば、学期ごとの長期休業中の活動する場所や土曜日に外部の方が来て、そして中学校で教えるとなると、セキュリティの問題とかあるわけです。そんな時に自分がいつも感じるのは、例えばこちらのあのホールですとか、どれみふぁルームと利用してこどもと外部講師の方が一緒に活動できたらいいと思っています。例えば、この辺の中学校の吹奏楽部の何人かが集まって、専門の講師もいますので、今日は何の楽器の指導とか、この日は何々パートの指導とか、あと合奏練習なんかもできたらよいと思っています。ぜひそんなところもご検討いただければありがたいかなと思います。土曜日はたぶんいろんなメニューがあるので、なかなか厳しいかなと思うのですけれども。そんな活動ができればありがたいなというふうに思います。よろしくお願いします。
<梶間委員>	お世話になります。前橋市立若宮小学校のPTAの梶間と申します。ずーと前橋で40年間。ゴーカートも乗ってきて、こども時代もかなりこちらの施設を利用させていただきました。現在、小学五年生の児童がおり、去年自転車教室も経験させていただきました。私も30年前に同じことをやり、親子揃って同じコミュニケーションが取れる、そんないい体験ができて素晴らしいと思っています。子どもが未就学児の時、午前中によく遊びに来ていたのですが、交通公園ゾーンで自転車教室がやっている時もあった、そうすると遊べないじゃないですか？今だとホームページで確認をすれば、出ていると思うのですが、ぜひインスタグラムとかで今日は午前中は授業中とか。そうすると、今日はやめとこうとか、今日はいけるなっていうのが、わかりやすく発信していただけると、あの判断がつきやすいかなと思います。後はゴーカートのところがすごく最近並ぶので、できたらちょっと日陰があると待つときに助かるかなと思います。基本的にあのふわふわドームとかもそうですけど、大人が近くで、こどもを待っているとき、真夏は死にそうになるくらい暑くなるので、少し日陰があると嬉しいなあと考えております。よろしくお願いいたします。
<狩野委員>	みずき中地区健全育成会の関係でお世話になります。当センターが平成24年に再建設されたということですが、ほんと初めて来館しました。ゴーカートがあるくらいにしか思っていませんでしたが、本日、玄関から入ってくる時に様々な設備があることに気づきました。教室みたいなのがありましたね。みずき地区も小中学校のほかに附属小学校とか、幼稚園もあります。これからよく勉強させてもらって、いろいろなことで協力させてもらいたいと思います。今度、自転車などの法律も変わって、こういうところで勉強するのも、大変いいことじゃないかなと思います。そういうところで皆さん一生懸命頑張ってもらってですね、これからは前向きに体験してほしいです。現在の事業のほかに、また次のステージのことも考えているような感じの意見がいろいろありましたので、私たちも期待しています。何卒協力して、私たちも勉強させてもらいたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

＜渡邊委員＞	前橋市子ども会育成団体連絡協議会の渡邊と申します。私も委員は長く務めさせていただいています。先ほど狩野委員が言われた自転車に関してですけど、罰則が来年の4月から16歳以上には違反切符が正式に対象になるそうです。小学生からそういったことをここで学んで、将来罰則の切符をもらわないような、指導をしていただければと思います。私は、市子育連会長をやっていて、先日6月22日の日に育成研究会っていうのを開催して、子ども会育成会の育成者の指導する内容で、上毛かるた、レクリエーション、ワールドカフェ、バルーンアートそれと、ボッチャをグループに分けて研修を受けてもらいました。例えばかるた研修では正式なルールがあるということを学んでもらう内容です。その後の役員会で子ども会員も以前と同様に育成者と一緒に参加してもらおうという意見がまとまり来年度はそうなる予定です。いろいろ世の中変わってきて育成会や子ども会が消滅したり、PTAがなくなったっていうことは、全国的に聞きます。そういったことを止めるため、どうしたらよいか考えてもらおうと育成者だけでなくこどもと一緒に大人も体験できたら楽しいのではと考えました。ここも同じことをやられているので、私どももまねをさせていただきたいというふうに思っておりますので、今後とも勉強させてください。よろしくお願い致します。
＜本川委員＞	広瀬小学校の本川です。よろしくお願いします。昨年度まではこちらの方で、働かせていただいたのですが、今度外に出てみて改めて、さまざまなことを実践しているということ、再実感しました。普段、小学生を間近に見ていると、今の子どもたち、本当に体験するっていうことが少ないのだなと感じています。その点ここは、本当に色々な体験ができる場所ということを実感しています。小学生向けの交通天文教室ですとか、環境教室なんかも、こどもたちにとって普段なかなかできないような、また体験することができないような考えるきっかけになる場所となり、そういうことをできる場所はすごく貴重と感じました。そのように児童文化センターは素晴らしい場所というのを実感しました。学校でも、ぜひここでの事業などを紹介して児童文化センターの魅力を広めていけるといいと感じました。ありがとうございます。
＜藤井委員＞	芳賀中学校の藤井と申します。昨年度の末にも、この会議でさせていただいてですね。その時にむつみ川のメダカのことですとか、環境教育の授業ですとか体験させて頂けて、とてもすばらしいことをやられており、施設も本当に素晴らしいものと思っています。前回の委員会の時にもっとSNS等を使ってPRした方が良さっていうような意見が出て、それであのInstagramを始めていただいたのかななんてちょっと思ったのですけれども。そのSNSの影響力がすごく大きいと思います。あの、群馬県がtsulunotsというところから発信し、結果、群馬県の移住者がナンバーワンにつながったとかいわれていますね。また、県政PRに使われていたり、とても影響力がある可能性があるのも、ぜひそのInstagramっていうのを充実させていただければありがたいなと思いました。ただ、私はInstagramをやってはいないので、これから始めてみようと思っています。別にCITYエフエムとの連携や「わくわくキッズ」、「すぐーる配信」とかいろんな方法でPRをしていただけたら、もっとこの利用者が増えて充実しているのかなと思いました。本当に、皆さんおっしゃられましたけれども、職員の皆さまの本当にご苦労が大変だと思いますけれども、身体に気をつけてやっていただければと思います。本当にありがとうございます。
＜渡邊館長＞	先ほどの春山委員さんからあった部活動からのつながりについては、うちの機能を活かせる、長所を生かせるところではあるので、それを前向きにこれから検討できればと考えていますので、またそのうち何か報告できるかなと思います。
＜西園会長＞	委員の皆さんから、それぞれの立場から大変良いご意見を頂いたと思います。まだ

	皆さんからご意見いただきたいのですが、時間の方がなくなってしまいました。よろしいでしょうか。ひとつ加えますとコンセプトで体験っていうことを打ち出されたというのは、この施設にぴったりですね。われわれがこどもの頃は、多分体験できる場所が街の中とか、郊外にもいろいろと勝手に使える場所があったのだけれども、今は、そういうのはなくなってきてますので、ここそういう場として活用できるっていうのはとてもよいコンセプトだと思います。今日の委員のみなさんの意見を参考にさせていただいて、よりよい施設の充実を図っていただけたらと思います。議長からはここで事務局の方にお返し致します。
6. 閉 会〔安藤課長〕 西菌会長、ありがとうございました。また委員の皆様お一人お一人それぞれのお立場から貴重なご意見をいただきまして、大変ありがとうございました。 こちらでいただいた意見の方は、今後の施設の運営また今後の教室ほかいろいろな活動に活かしてまいりたいと思います。 それでは以上をもちまして令和7年度児童文化センター第1回運営委員会を終了させていただきたいと思います。本日は大変ありがとうございました。	